

4年「特色ある地いきと人々の暮らし～伝統的な工業のさかんな地いき～」

○指導計画作成の工夫

★伝統的な工業のさかんな地域として、大崎市の鳴子町を取り上げた。
教科書の他に副読本「わたしたちの宮城県」、地図帳の他に、別添資料や各ホームページなどを調べる資料として学習できるように計画した。家庭にあるこけしを持ち寄ったり、絵付けたをした経験した経験などを紹介させたりするなど、こけしを身近に感じさせたい。一つでも実物のこけしを用意し、実際に触れさせることが望ましい。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
伝統的な工業のさかんな地いき	7時間	1(つかむ)	●本時の学習すべき事項、内容・・・宮城県では、伝統的工芸品としてこけし作りが盛んなことに気付く。 ※単元の導入を確認し、県内の特色ある地域について調べ、自分たちの住んでいる地域（仙台市）と比べていくという単元のめあてを確認する。 1宮城県の伝統的工芸品について興味をもつ。20分 - 別添資料1－①仙台市内で見られるこけしを提示し、こけしに着目させる。 ⇒「西公園には大きなこけしがあるよ。」 「仙台空港にもこけしが展示されているね。」 「仙台駅には、仙台弁こけしという『ゆるキャラ』のグッズがあるよ。」 「なんでこんなにこけしが使われているのかな。」 なぜ、宮城県では、こけしがPRされているのだろうか。 - 宮城県の伝統的工芸品の意味を調べる。 ※地図帳の巻末資料に各都道府県の情報が掲載される。 ⇒「こけしは宮城県を代表する伝統的工芸品だったんだね。」 別添資料1－② 「伝統的工芸品って何かな。」「伝統的工芸品のマークがあるんだね。」 (参考資料：伝統的工芸品 https://kyokai.kougeihin.jp/traditional-crafts/) (参考資料：宮城県の伝統的工芸品 リーフレットとして、ダウンロードできる。 https://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/744220.pdf) 2宮城伝統こけしについて調べる。15分 「宮城伝統こけしには、どのような特徴がありますか。」 ⇒「5系統が宮城県なんだね。」※わたしたちの宮城県P15 伝統こけしの産地 「それぞれ特徴が違うみたいだね。」 「鳴子こけしは首が回って音がするのが特徴だよ。」 (参考資料工芸ジャパン https://kogeijapan.com/locale/ja_JP/miyagidentokokeshi/) (参考資料 宮城蔵王こけし館 http://www.kokeshizao.com/tradition.html) ※実物が用意できれば、実際に触れさせ、気付いたことを共有したい。 3本時のまとめをする。10分 - 宮城の伝統こけしについて分かったことをまとめる。 宮城県でこけしがPRされているのは、宮城県の伝統的工芸品として宮城伝統こけしがあり、県内でこけし作りが盛んなため。 - 宮城県伝統こけしの中でも鳴子こけしについて調べていくことを伝える。 - 家庭にこけしがあるときは、写真を撮影したり、実際に持ってこられる場合は、持ってきたりするように伝える。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
伝統的な工業のさかんな地いき	7時間	2(つかむ)	●本時の学習すべき事項、内容・・・学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ※授業の導入で、家庭にこけしがあったかを確認し、どの系統だったのかを共有できるとよい。 1 鳴子町について興味を持つ調べる。10分 ・別添資料2-①鳴子町のこけしを活用し、こけしに着目させる。 ⇒「駅前には、こけしの看板があるよ。」 「こけし通りという道もあるね。」 「役所の電話ボックスや郵便ポストにもこけしがあるね。こけしの町なんだね。」 ※ストリートビューなどを活用して、こけし通りや駅前を示してもよい。 2 調べてみたいことについて話し合い、学習問題をつくる。10分 ・こけし作りや鳴子町について疑問に思ったことを個人で書いた後、全体で話し合う。 ※グループごとに話し合いを行ってもよい。 「こけしづくりは、いつごろから始まったのかな。」 「どうしてこけしづくりは、鳴子町で盛んなのかな。」 「どうやってこけしを作っているのかな。」 「こけしを生かしてどのようなまちづくりをしているのかな。」 鳴子町では、なぜこけし作りが盛んで、どのようにまちづくりにいかしているのだろうか。 3 予想を立て、学習計画をつくる。15分 ・予想をたて、調べたいことを整理する。 ⇒「こけしづくりの名人がたくさん住んでいるのかな。」 「他にもこけしに関係する建物がありそうだよ。」 「こけし作りのイベントが開催されいると思うな。」 ※調べることを「こけしづくりが盛んな理由」、「伝統的なこけしの作り方」、「こけしと町づくり」の3つに整理する。 ・調べ方やまとめ方を確認する。 ※「わたしたちの宮城県」「インターネット」で調べる。 ※ 調べたことはノートにまとめる。 4 本時を振り返り、習感想を書く。10分 ・振り返りの観点として、これから特に調べてみたいことを書くようにする。 ⇒「こけしの職人の技について知りたい。」 「こけしづくりのイベントについて調べてみたい。」 「伝統こけしの他にもどんなこけしがあるのか知りたい。」 ・次時は、こけしづくりが盛んな理由について調べることを確認する。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
伝統的な工業のさかんな地いき	7時間	3 (調べる)	●本時の学習すべき事項、内容・・・地理的条件やこけし作りの歴史的背景に着目して、こけし作りが盛んな理由について調べる。 ※関連して調べたいこともあれば共有しておく。 1 習計画を基に、本時課題を確認し、予想を立てる。 10分 なぜ鳴子町では、こけし作りが盛んなのだろうか。 ・予想を立てる。 ⇒「ずっと昔から作られているから。」 「こけし職人が多く住んでいるから。」 「木がたくさん生えているから。」 2 こけし作りが盛んな理由を調べる。 30分 ・「鳴子」「作並」「遠刈田」「弥次郎」の4つの場所について地図帳で確認する。 「4つの場所に共通していることは何でしょう。」 ⇒「宮城県の山側に多いよ。」 「どこも温泉の地図記号があるよ。」 「こけしと温泉に秘密があるのかな。」 ・こけしづくりの歴史についてインターネットで調べる。 ※調べるホームページは指定する。 (参考資料 こけし館 HP http://www.kokesikan.com/kokesinoyurai.html もしくは、 県 HP https://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/24,1070,105,223,html) ・ノートに分かったことをノートに書く。 ⇒「こけしは、温泉地のみやげものだったんだ」 「子どもの健康な成長を願う意味もあったんだね。」 「だいたい200年以上前から伝わっているみたいだよ。」 ※東北の厳しい冬場に湯治に訪れる農民がいたことをおさえる。 ・こけしの材料について、調べる。 「こけしの材料は、なんですか。」 ※1時で利用した宮城県の伝統的工芸品参照 ⇒「ミズキやエンジュという木が材料なんだ」 <u>別添資料3-①</u> 「だから山間部でこけし作りが行われているんだね。」 (参考資料 月刊杉 http://m-sugi.com/62/m-sugi_62_iwai.htm) (参考資料 木 net http://jawic.or.jp/woods/sch.php?nam0=mizuki) 3 課題についてまとめる。 5分 ・調べたことをもとにまとめを書く。 鳴子町でこけし作りが盛んなのは、材料となる木材が手に入りやすく、鳴子温泉に訪れたの温泉客へ土産物として販売していたから。 ・次時は、こけしの作り方について学ぶことを確認する。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
伝統的な工業のさかんな地いき	7時間	4 (調べる)	●本時の学習すべき事項、内容・・・こけしの作り方について調べる。 ※単元計画と前時の内容を振り返り、こけしの材料について確認する。 1 本時課題を確認し、予想を立てる。10分 - 別添資料4-①を提示し、伐採したミズキを1年以上乾燥させておくことを伝える。 ⇒「枝が落とされて加工しやすくなっているよ。」 「1年も乾燥させているんだね。」 「この木材がどうやってこけしになるのかな。」 鳴子こけしは、どのようにして作られているのだろうか。 - 工程を予想する。 ※工程を番号や矢印で示したり、簡単な図を描いたりしてもよい。 ※予想を立てるヒントとして、わたしたちの宮城県P15 こけしを作る道具を提示する。 ⇒「まず、皮をけずるのだと思います。」 「頭と胴体は別々につくると思います。」 「肘あてみたいなものは何に使うのかな。」 2 こけし作りの工程について調べる。25分 - わたしたちの宮城県P14から調べる。 ⇒「大きく6つの工程があるね。」 「最後に首をはめるんだね」 ※写真からでは、分からないことについて確認する。 「どうやって丸みをだしているのかな。」 「たくさん時間がかかりそうだよ。」「ろくろって何かな。」 - こけし作りの動画を見て、メモをする。 (参考資料 伝統工芸 https://www.youtube.com/watch?v=x8uRxvm6sUs) 「ろくろが高速に回ることによって一気に削れていたよ。」 「色付けもあっという間にできていたね。」 「丁寧にやすりをかけていたよ。」 「特にどんなところが難しいと感じましたか。」 「ちょっとでもずれてしまったらたいへんだ。」 「首をはめる穴が大きすぎたら、はまらないよ。」 「少しでも失敗したら、やり直しだね」 - こけし工人のインタビューを提示し、工人の思いに触れる。 (参考資料 https://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/24,1070,105,223,html) 「木地に3年、絵付けに7年かかるんだね。」 「工人の技や思いが詰まっているんだね。」 ※わたしたちの宮城県P15にもインタビューが掲載されている。 3 課題についてまとめる。10分 - 調べたことをもとに、まとめる。 こけしは、一つ一つ手作業で行われ、ろくろを利用して削り、丁寧に絵付けするなど、工人さんの技や思いが詰まっていた。 - 次は、まちづくりについて学習することを確認する。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
伝統的な工業のさかんな地いき	7時間	5 (調べる)	●本時の学習すべき事項、内容・・・人々の協力関係に着目し、こけしを中心とした鳴子町のまちづくりの取り組みについて調べる。 ※単元計画と前時の内容を振り返る。 1 本時課題を確認し、予想を立てる。10分 ・2時で見た、別添資料2-①を提示しながら、本時の課題を確認する。 ⇒「こけしがいたるところにあるね。」 「他にもこけし作りを生かしたまちの取り組みがあるのかな。」 鳴子町の人々は、こけしを生かしてどのようなまちづくりを行っているのだろうか。 ・予想する。 ⇒「こけしに関わる建物があるのかもしれないな。」 「こけしのイベントがあると思うよ。」 2 こけしを生かした取り組みについて調べる。25分 ※グループで調べることを3つに分けて調べるとよい。 ・こけし祭りについてインターネットで調べる。 ※調べるホームページは指定する (参考資料 全国こけし祭り HP https://kokeshimatsuri.com/) ⇒「こけし祭りは、1948年から始まっているんだね。」 「こけしの製作実演展示販売が行われているよ。」 「フェスティバルパレードでは、姉妹都市と交流したり、一般の人も参加したりできるね。」 ・こけし館についてインターネットで調べる。 (参考資料 日本こけし館 HP http://www.kokesikan.com/kannainoannai.html) ⇒「昭和50年に7年の歳月をかけて完成したんだね。」 「鳴子町で一番の数と種類がそろっている場所みたいだよ。」 「展示しているだけでなく、ろくろの実演コーナーでは、日替わりで工人さんが来ているよ。」 「鳴子町の観光地の中心になっているんだね。」 ・鳴子温泉秋の感謝祭について調べる。別添資料5-① (鳴子温泉郷観光協会 HP http://naruko.gr.jp/news/) 「スタンプラリーがあると商店街のたくさんのお店に寄ってもらえるね。」 「鳴子ちゃんというゆるキャラがいて、プレゼントにもなっているよ。」 「こけしのお店もたくさん参加しているよ。」 ・調べたことを共有し、共通していることを話し合う。 「3つの取り組みで共通していることはどんなことですか。」 「工人だけでなく、多くの人が協力している。」 「こけしが町の中心となって様々な観光が行われている。」 3 課題についてまとめる。10分 ・調べたことをもとに、まとめる。 鳴子町の人々は、多くの人が協力し、こけしを中心としたまちづくりを行っている。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
伝統的な工業のさかんな地いき	7時間	6(調べる)	●本時の学習すべき事項、内容・・・こけし作りを残し、伝えるための取り組みについて調べ、これからのこけし作りについて考える。 ※単元計画と前時の内容を振り返る。 1 本時課題を確認し、予想を立てる。10分 - わたしたちの宮城県 P15 とこけし館のこけし工人の紹介から課題について知る。 (参考資料 日本こけし館 HP http://www.kokesikan.com/kouzinnsyokai.html) ⇒「こけしの工人を育てるのには10年かかるといっていたよ。」 「親から子に受け継がれているみたいだよ。」 「高齢化が進み、跡継ぎがいないと伝統は途絶えてしまうのかな。」 こけし作りを今後に残し、伝えるためにどのような取り組みをしているのだろうか。 - 予想する。 ⇒「たくさんの人にこけしの魅力を教える取り組みをしているのではないかな。」 「若い人にもこけしの良さを知ってもらえるようにしているのかな。」 2 こけし作りを守り、伝える取り組みについて調べる。25分 - 若い工人さんの活躍について調べる。 (参考資料 河北新報 https://www.kahoku.co.jp/special/spe1177/20200608_01.html) 「少しずつ若い工人さんも現れ始めているね。」「先代の技術を継ぐのだね。」 「転職して女性の工人さんを目指している人もいるね。」 - ミズキの木の植樹活動について調べる。 (参考資料 櫻井こけし店 HP 第1回植樹祭 https://www.sakuraikokeshiten.com/blog/4f57afba7d6 第2回 https://www.sakuraikokeshiten.com/blog/44a1b7c1c35?categoryId=299) ⇒「昨年からはまった取り組みだ。」 「こけしの森を存続させていくことが伝統を守ることにつながるんだね。」 - 市場を世界に広げていることについて調べる。 (参考資料 ミラノこけし展 https://www.milano-kokeshi.com/special) ⇒「イタリアで、こけしの伝統を広める挑戦をしたんだね。」 「世界の人々がこけしの伝統に魅力を感じてくれて嬉しいな。」 ※海外向けのこけしを提示する。(海外では淡い色合いが支持されることを知った若手の工人のアイデアから生まれた。) (参考資料 櫻井こけし店 HP https://www.sakuraikokeshiten.com/6) 「伝統を守りながら、新たな表現に挑戦しているよ。」 「日本のこけしから、世界の KOKESI へと発展しているんだね。」 3 学習を振り返り、伝統を残し、伝えるために大切なことを考える。10分 - こけし作りを残し、伝えるために大切なことは何か自分の考えを書く。 こけし作りを今後に残し、伝えるためには、〇〇が大切である。 ※〇の部分を考えさせる。「人材を育てる、環境を守る、さらに発展する」などが予想される。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
伝統的な工業のさかんな地いき	7時間	7(まとめ)	●本時の学習すべき事項、内容・・・これまで調べてきたことを整理して、学習問題についてまとめる。 ※単元計画から、学習問題を確認する。これまでの資料やノートを振り返る。 1 本時課題を確認する。20 分 鳴子町のこけし作りについて調べたことをもとに、キャッチコピーをつくろう。 ・調べて分かったことを観点ごとに整理する。 ※①こけし作りが盛んな理由, ②伝統的なこけしの作り方, ③こけしと町づくり, ④残し伝えるための取り組みの4つの観点に沿って振り返っていく。表などを利用して整理させもよい。 ⇒①こけし作りが盛んな理由 「200年以上前から伝わっていたね。」 「温泉地だったことと関係があったよ。」 ②伝統的なこけしの作り方 「工人さんの高い技術があったよ。」 「一人前の工人になるまでに10年以上学ぶ必要があるよ。」 ③こけしと町づくり 「こけし館では、絵付け体験を行っていたよ。」 「こけし祭りや鳴子温泉の商店街と協力したイベントもあったね。」 ④残し伝えるための取り組み 「ミズキの木を植えていたよ。」 「世界に向かってこけしを発信していたね。」 2 鳴子町のキャッチコピーを考える。15 分 ・文字数の制約を設けず、自由に考えさせるが、理由を明記させるようにする。 「伝統を生かして発展していくまち。」 ↳200年もの伝統を職人が受け継ぎ、こけし作りを中心にまちづくりが行われているから。 「こけし作りへの思いがつながるまち。」 ↳先代たちの伝統が、今の工人さんたちに伝わり、さらに若い人たちへと受けがれているから。さらに、町の人々もこけしづくりとつながっているから。 ・全体で共有する。 ※短冊やホワイトボードなどを活用する。グループ活動にしてもよい。 3 単元の習を振り返り、学習感想を書く。10 分 ・計画を振り返りながら、今回の学び方を確認する。 ・単元を通して、気付いたことや考えたことを書かせる。 宮城県鳴子町では、伝統的な技術を生かしたこけし作りがさかんで、人々がその伝統や技術を大切にしまちづくりに取り組んでいることが分かった。もっと宮城県のこけし作りが広まってほしい。私も実際に鳴子町に行ってこけしの絵付け体験やこけし祭りなどに参加してみたい。 ※資料6-①を示し、空港でアマビエこけしが売られていることを伝える。コロナの収束を願う人々の気持ちがこけし作りを通して、全国各地や世界に発信されている。 ※単元の「いかす」は、3つの地域を勉強した後に設定する。